



# 口曜文苑

詩壇

魔砂美

利鎌の月か  
中空にかつて  
暗黒が断がいを取りかこ  
んだ  
人間がよろ／＼と  
ガケの上に姿を現した  
どくろの目の様に  
凹んだ谷川は  
死の狂想曲を奏で、  
鬼氣がシン／＼と静寂の  
中にひたつて行く  
無意識—  
彼は天に向つて  
大きな溜息を吐いた  
『お、神様』  
かすかに血にじむ聲が  
あたりにしたる

瞬間……  
人間の影は消えた  
遙かな下の流れから  
それに答へる  
悪魔の嘲笑があつた  
歡樂をして悲哀  
人生 人生  
人生 人生  
人生 人生

今夜こそは  
書けそうなき持た  
いつもの  
散歩の疲弊に  
任せてはならぬ  
湯あがりの  
だるんだ氣持で  
物が書けるか  
どうしても  
風呂は後だ

歌壇

鈴木千代子

賤の男は馬草背負ひて歸るなり  
暮る山路に唄を殘して  
ひさかたに鳴き行く雁の聲きけば  
師の君いますみ空をぞ思ふ  
慈みあまねかりにし師の君の  
み魂は去りて今日のごもつな

俳壇

花子

舊城の鐘なる頃や かやち焚く  
夕月にはのかに匂ふ 月見草  
ひぐらしに、せかれて歸る 女の子  
萩の花 灯ともる頃や虫の聲  
秋高く天澄めり 赤とんぼ 臥床生  
公孫樹 蒼空に高し 残暑かな 炊骨庵主  
夢を泣く 枕に近し虫の聲  
手折らるゝ 時待ち顔や百合の花

おなじみの  
**昭和タクシー**を  
おすすりなさい下さい  
電話はお好きな**三四三番**  
平 驛 前

**梅毒と體毒を**  
切らず……注射せず……治す  
獨逸のベルツ博士の發見

**ベルツ丸**  
悩み苦しむ人々よ……速刻服用して其  
偉効を味はれよ  
薬價(輕症用三圓、重症用五圓、頑固用拾圓  
根絶用廿圓、試用二圓、一圓)  
平町五丁目角  
地方一手特約店 **山野邊藥局**

**特賣!**  
たひら正宗 福島縣清酒品評會  
一等賞受領  
花 春 同優等賞受領  
鹽屋最上醬油醸造元  
**山崎合名會社**  
平町土橋 電話一〇番 二七番  
東京上野車坂四三  
**東京支店**  
常磐線平町四丁目花信  
電話下谷五七二番

美術造花  
製儀用達  
**山光堂**  
葬儀社  
盆位牌賣出し  
佛具品一切勉強致します  
電話五五〇番

目面が子男快の等我るす壓を下天満氣意の新更

## 名篇 香掛時次郎

品作傑大の心快回一第歸復郎次傳内河大 星巨

◇画名るげ注を血心くべす念記と然憤が郎次傳に至にるれなと出演の後最が正澤優名◇  
氏 郎 吉 辻……督監 生先伸 川谷長……作原  
郎次介山中・華桃上尾・一香木葛・子米井酒……者演助

六六四電 館 平 竹松活日 ○六大小席等特 ○五大小席等一 ○四大小席等二 料場入

舊十三日替り 十三日より五日間  
晝夜二回公開  
プログラム  
園松竹作品 **林長二郎** 主演映画の白眉

千早晶子 關 操：助演  
○淺ましき人の世の姿を描いて盡す湧き出る  
痛ましき哀調の劍と想の繪巻 説明：林樂遊  
◎帝劇ソプラノ名花

**赤井美奈子嬢**  
獨唱……香掛小唄 紅屋の娘  
◇日活作品 各社競映榮冠途に大日活の手に  
親に對し私し達がごんなに孝行しても親達  
私し達に與へてくれた聖愛から見る時あまり  
に小さいものではある 説明：若月柯村

**紅屋の娘**  
瀧花久子 一木禮二 主演

**安全第一**  
諸債券公債類ノ御用ハ是非……迅速簡  
易チモツトースル弊店ヲ精々御利  
用下サイ  
營業 勸業債券 兩替  
復興債券 金融  
公債其他 金融  
課目 質物一般取扱  
平町大工町 **多田井商店**

讀書子の  
**忠實な番頭**  
取次迅速 取引正確  
**マルトモ柴田書店**  
平町四丁目  
電話 二三四番

**平看護婦會**  
會長 清野キヨ  
平字南町電話三〇七番  
◎看護婦派出の需めに應ず